

## 12 A案

教材名：能登半島地震の経験を通して

主題名：温かい人間愛

内容項目：B (6) 思いやり，感謝

- 1 **ねらい** 多くの人の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、誰かのために役に立とうとする心情を育む。

### 2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

#### ◇ 映像資料を視聴し、能登半島地震について知る。

① 能登半島地震について、知っていますか。

- ・地震があったことは知っているが、詳しくは知らない
- ・祖父母の家が被害にあった
- ・崩れた道路を見たことがある

#### ◇ 教材を読んで話し合う。

② 両親が祖母に付き添って行った夜、「僕」はどんな気持ちだったでしょう。

- ・祖母のことが心配で、心細い
- ・家もなくなり、不安だけが襲ってくる
- ・自分はこれからどうなるのだろう、もう絶望的だ

③ 「僕」がそんな中でも苦しさや悲しさに押しつぶされることがなかったのは、どうしてでしょう。

- ・声をかけてくれる人がいたから
- ・周りの人の温かさに触れたから
- ・ボランティアの人達が支えてくれたから

④ お年寄りの肩をもみながら「僕」はどのような思いでいたでしょう。

- ・自分がいろんな人に支えられて嬉しかったので、今度は自分が誰かのために何かをしたい
- ・自分が周りの人に支えられて今があるからこそ、今度は自分が誰かの支えになりたい
- ・ささやかなことでも、自分にできることをして誰かの役に立てるのはうれしい

#### ◇ 自分の生活を振り返る。

⑤ 今の自分を支えてくれている人にはどんな人がいますか。その人たちに対してあなたはどのように思っていますか。

- ・私は家族の支えがあるから、部活や勉強に打ち込めると感じていますが、なかなか素直にありがたうと言えないので、いつかその気持ちが伝えられるといいです

#### ◇ 教師の説話を聞き、今日の授業で感じたことや考えたことを書く。

### 3 指導上の留意点及び工夫

- ・避難生活を経験した人やボランティア経験者に、GTとして話をしてもらうのもよい。
- ・自分のことを振り返る時に、自分自身を真ん中にした人物相関図を書きながら、誰にどんな風に支えられているかを書いてみるのもよい。

### 4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「12 能登半島地震の経験を通して」

## 12 B案

教材名：能登半島地震の経験を通して

主題名：温かい人間愛

内容項目：B (6) 思いやり, 感謝

- 1 **ねらい** 多くの人の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、誰かのために役に立とうとする心情を育む。

### 2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）

#### ◇映像資料を視聴し、能登半島地震について知る。

- ① 能登半島地震や避難所での様子を知ってどう思いましたか。
- ・ここまで大きな被害があったとは思っていなかった
  - ・避難所での生活は大変なことや不安なことがたくさんあつたらうな
  - ・大変な状況の中で、笑顔の人がいるのはなぜだろう

#### ◇教材を読んで話し合う。

- ② 「僕」が「お年寄りの肩をもむ」という行動をとったのはどうしてでしょう。
- ・人の優しさにふれることで苦しさや悲しみを乗り越えられると感じたから
  - ・支え合いの大切さに気付き、自分も他の人のためにしたいと思った
  - ・自分から他の人のために行動することで、絆が深まっていくと実感したから

- ③ 不便な生活の中で「僕」が気付いた「便利さとは違う何か」とは、どのようなことでしょう。グループで話し合ってみましょう。

- ・人の心の温かさ
- ・当たり前だと思っていたささいなことにも感謝できる喜び
- ・自分にできることをしてお互いが支え合うすばらしさ
- ・誰かの役に立つために行動するすばらしさ

#### ◇今日の授業で感じたことや自分との関わりで考えたことについて振り返る。

- ・日々、多くの人に支えられながら過ごしていることが当たり前のことになっていたかもしれない
- ・互いを思い合う気持ちを行動に表すことで乗り越えられることがあると思った
- ・私が今こうやって部活動で活躍できているのは友達のおかげだ ありがとうと言いたい

### 3 指導上の留意点及び工夫

- ・GTとして、避難生活を経験した方やボランティア活動に参加されていた方を迎え、避難所生活における困難さと共に、人の心の温かさについて話をしてもらうのもよい。
- ・最後に、「私たちの道徳」（P 87）「この人のひと言」を提示し、余韻を残して終わるのもよい。

### 4 参考資料

- ・映像資料集（中学校）「12 能登半島地震の経験を通して」